



季節の言の葉こよみプリント「九月」

なまえ

長月ながつき（九月くがつ）



二十四節気・七十二候

日本の季節を表す言葉です。（*は七十二候の一部）

九月八日ごろ

白露はくろ（すずしくなつて草に露が宿る）

九月八日ごろ

* 草露白くさのつゆしろし（草に降りた露が白い）

九月十八日ごろ

* 玄鳥去つばめさる（つばめが南へ去る）

九月二十三日ごろ

* 雷乃収声かみなりすなわちこえをおさむ（雷の音がしなくなる）

九月二十三日ごろ

秋分しゅうぶん（昼と夜の長さがほぼ等しくなる日）



日本の言の葉

秋は夕暮れ。

夕日のさして山の端

いと近うなりたるに、鳥の

寝どころへ行くとして、

三つ四つ、二つ三つなど、

飛び急ぐさへあはれなり。

【意味】

秋は夕暮れがよい。

夕日がさして、山のはしにとでも近づいたところに、
からすがねぐらに帰ろうと、三羽四羽、二羽三羽などで、
急いで飛んでいくのも、しみじみとする。

（『枕草子』清少納言）

・上の文章を、声に出して読みましょう。
・あなたが好きな、秋のけしきや、食べ物、
植物などを書きましょう。

--	--	--